

## 卒業論文の要旨

論文題目	女子学生のワーク・ライフ・バランスに対するビジョン ～母親のキャリアと自身の経験の影響～
氏名	深澤 愛那
メジャー	コミュニケーション学
(要旨) 近年、ライフスタイルの多様化により、社会進出を望む女性は増えてきており、そのような女性を支える制度も徐々に整いはじめている。しかし、日本の若い女性の間には相変わらず根強い結婚への憧れや、専業主婦への期待があるように見受けられる。そこで今回は、女子学生に焦点を当て、「日本の女子学生は仕事と家庭についてどのような意識を持っているのか。」、「その意識は家庭や大学の経験の中でどのような要因に影響され形成されているのか。」という部分を明確にした。調査方法としては、6名にインタビューを行い、GTA を使って分析した。その結果を、女子学生のワーク・ライフ・バランスに対するビジョンとし、「家庭重視型」、「仕事家庭両立型」、「仕事重視型」、「ビジョンなし型」という4つのタイプに分類した。影響要因としては、母親の影響と学生時代の経験の影響の2つが考えられた。	
(指導教員の推薦のコメント) 3年次のリベコンでの共同研究「日韓越の女子学生のキャリア意識」(最優秀賞受賞)をもとに、さらに自分なりに考えを日本人の女子学生のキャリアに絞り発展させた。ワーク・ライフ・バランスについての考え方とそれへの影響因について、質的研究を行った。自分なりに丁寧にカテゴリーを作り、それらの関係性を分析。ワーク・ライフ・バランスの4パターンとそれへの影響因を見出した。先行研究では、母親が仕事をしているか否かと女子学生のキャリア選択との関係を分析するものが多いが、母親の仕事について女子学生本人がどういう見方をするか(賛同するか否か)が重要で、同時に学生時代や留学の経験とが影響を与えていた。テーマも大学生にとって関心が深いこと、また、質的研究をどのようにまとめるのかのよい見本となる論文である。	